

共生

2017年7月

Vol.04

社会福祉法人
札幌慈啓会 広報誌

法人広報誌「共生」の 発行にあたって



社会福祉法人 札幌慈啓会
理事長 太田 眞琴

法人広報誌の発行にあ
たって一言ご挨拶を申し上
げます。

今、日本を取り巻く財政状況は、少子高齢化による社会保障費の増大に伴い大変厳しいものがございます。私どもの法人においても財政的に豊かになるということはあり得ないと思っております。来年度には、介護報酬と診療報酬の同時改定がございますが、この同時改定も非常に厳しい状況になると思われまます。

また、平成28年度から平成29年度にかけて行われております社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人に求められている、地域における公益的な事業、経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等について、法人全体で取り組んでいるところでございます。

このような厳しい情勢と大きな変革の最中ではございますが、私ども法人は、創設当初からの福祉の原点を忘れることなく、法人の理念である「共生（ともいき）」の精神のもと「保健・医療・福祉」のトータルケアに努め、子どもをご利用くださる地域の皆様のご期待にお応えできるよう努力してまいります。

この度、発行させていただきました広報誌では、現在当法人が行っている様々な事業の一部をご紹介します。ただくとともに、少しでも皆様方に当法人の今をご理解していただけるような記事を掲載した内容とさせていただきます。

今後とも、当法人の運営に際しまして、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

慈啓会病院から二つのニュース

地域包括ケア病棟を 開設しました

慈啓会病院は、今年の3月から、安心してご自宅や施設で暮らせるように支援を行う病棟として3階病棟を「地域包括ケア病棟」といたしました。

●地域包括ケア病棟とは

急性期治療が終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安がある患者様に対して、在宅復帰に向けた医療、看護、リハビリを行う病棟です。また、在宅療養中の患者様に入院が必要となった時、かかりつけ医から依頼を受けて支援する病棟です。

医師や看護師・リハビリスタッフ・医療相談員などが患者様・ご家族と協力して、在宅復帰に向けた治療・支援を行い、安心して退院いただけるようサポートしていきます。

●対象となる方は

- ① 急性期病院での治療が終了した後、在宅復帰に向けて療養やリハビリテーションが必要な方
- ② 自宅や施設で療養中に肺炎や発熱、脱水等をおこし入院治療が必要な方
- ③ 自宅、施設等で療養中の方で誤嚥予防や日常生活動作（ADL）向上のためのリハビリテーションが必要な方



●入院費について

入院費は、「地域包括ケア病棟入院料」の基準により計算され、投薬・注射・簡単な処置・検査・画像診断・リハビリ・医学管理料などの費用は含まれます。



後方支援病院として 在宅医療を支援いたします

●在宅療養後方支援病院とは

「地域包括ケア病棟」の一環として、慈啓会病院は、地域のかかりつけ医と連携して、かかりつけ医の求めに応じ当院が24時

間いつでも診療・入院をお受けする体制を確保しています。

★ 患者様にはあらかじめ「緊急時に入院を希望する病院」として、かかりつけ医を通じて届け出を行っていただきます（複数の医療機関を指定することはできません）。

★ 登録後当院は、かかりつけ医と3カ月に1回程度、患者様の診療情報を共有し、緊急対応に備えます。

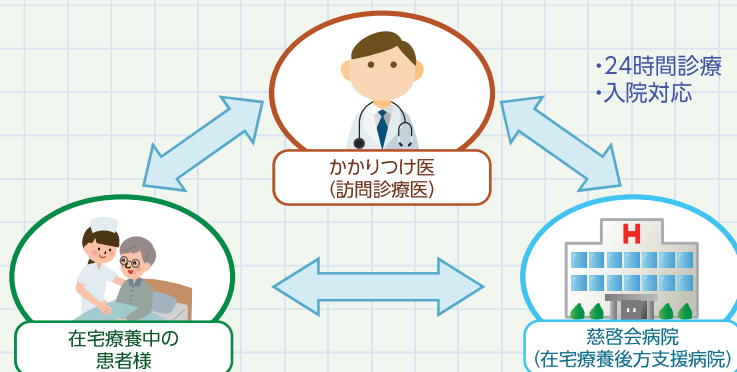
●利用の流れ

- ① かかりつけ医を通じて事前登録を行います。
- ② 体調が不安な場合、かかりつけ医に相談・受診します。
- ③ 診察の結果、精密検査や緊急対応が必要な時には慈啓会病院へ紹介されます。
- ④ 緊急入院が必要な時は、慈啓会病院に円滑に入院ができます。
- ⑤ 退院後は、再びかかりつけ医が担当します。

訪問診療をされている方

自宅・特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス・有料老人ホーム・グループホーム・サービス付高齢者住宅等にお住まいの方で、

●ご利用できる方



●連携のイメージ

当院ではこれからも患者様の在宅復帰支援に力を入れてまいりますので、お気軽にご相談くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先：慈啓会病院 地域医療連携室
TEL 011-561-8292 FAX 011-561-8821
電話対応時間：平日9：00～17：00（土日祝日除きます。）

第23回札幌慈啓会福祉病院学会について

「共生(ともいき)社会を目指して」

～札幌慈啓会の地域への貢献を考える～

この学会は、法人内の各施設に勤務する職員が日々の業務を通して学んだことや工夫したこと、調査・研究した成果を発表する場として2年に一度開催しております。他に公開講座と共生(ともいき)助成事業研究報告も予定しております。

公開講座は慈啓会病院の木村裕一消化器内科部長による「ピロリ菌について(仮)」を予定しております。また、共生(ともいき)助成事業研究報告は、医療分野で札幌医科大学医学部分子生物学講座 鈴木 拓氏と福祉分野で札幌慈啓会養護老人ホーム 川島志緒里氏の2名の方を予定しております。

なお、職員による研究発表は16題を予定しており、下表の通りです。

今後、チラシ・ポスターの作成を行い、出来上がり次第、関係者の皆様にご案内させていただきますので、よろしくお願いします。(お問い合わせ先：研究・研修センター 011-561-8291)

・開催日：平成29年11月11日(土)13：30～17：40 ・場 所：札幌市社会福祉総合センター「大研修室」

第23回札幌慈啓会福祉・病院学会 演題一覧

セッション	番号	演題
第1セッション	1	介護の仕事・切り分け ～障がい者雇用から～
	2	動物介在活動のふり返り ～あれから14年…～
	3	衛生委員会を軸とした施設内の環境改善の取組について
	4	食べたいという意欲を育てる工夫とは ～食べることが好きになる～
第2セッション	5	自然放射線と医療用放射線について
	6	転倒予防におけるバランス検査の検討
	7	チーム医療により食事摂取の自立を回復し得た症例
	8	慢性期病床における食物繊維高含有流動食におけるプレバイオティクス効果の検討
第3セッション	9	ヒヤリハット報告からみた傾向と対策 ～一年間のデータから見えてきたもの～
	10	事故検証から学ぶ施設の役割について ～活動開始後の入居者の意識変化について～
	11	ご利用者様の在宅復帰に向けて
	12	総合事業の課題と取り組み ～運動器機能の維持と向上を目指して～
第4セッション	13	サービス未利用者へのアプローチ ～アンケート調査を通して～
	14	医療と介護の連携について ～互いに連携しやすい顔の見える関係性づくり～
	15	稲寿園における新たな地域貢献の取組について
	16	地域における公益的な取り組みについて ～当法人の現状と課題～



平成 28 年度 法人決算報告

(単位：千円)

貸借対照表

(平成 29 年 3 月 31 日現在)



資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	1,133,541	流動負債	895,641
現金預金	366,979	短期運営資金借入金	120,000
有価証券	10,000	事業未払金	305,900
事業未収金	699,320	1年以内返済予定設備資金借入金	203,974
未収金	5,985	1年以内返済予定長期運営資金借入金	52,400
未収補助金	5,658	1年以内返済予定リース債務	24,983
未収収益	631	未払費用	16,775
医薬品	1,791	預り金	1,466
診療・療養費等材料	1,528	職員預り金	35,139
給食用材料	7	前受収益	18
立替金	37,839	仮受金	708
前払金	1,268	賞与引当金	134,275
前払費用	2,500		
その他の流動資産	30	固定負債	1,748,502
固定資産	4,550,890	設備資金借入金	1,065,935
基本財産	3,692,465	長期運営資金借入金	185,760
土地	154,300	リース債務	63,883
建物	3,538,165	退職給付引当金	432,924
その他の固定資産	858,425	負債の部合計	2,644,144
土地	20,100	純資産の部	
建物	224,323	基本金	604,016
構築物	22,811	国庫補助金等特別積立金	1,343,951
機械及び装置	6,218	その他の積立金	124,519
車輜運搬具	2,598	施設整備等積立金	71,397
器具及び備品	53,389	人件費積立金	21,784
有形リース資産	87,940	その他の積立金	31,337
権利	106	次期繰越活動増減差額	967,800
ソフトウェア	2,817	(うち当期活動増減差額)	(△ 101,462)
無形リース資産	876		
投資有価証券	42		
長期貸付金	3,110		
退職給付引当資産	309,153		
差入保証金	420		
施設整備等積立資産	71,397		
人件費積立資産	21,784		
その他積立資産	31,337	純資産の部合計	3,040,288
資産の部合計	5,684,432	負債及び純資産の部合計	5,684,432

資金収支計算書

(自)平成 28 年 4 月 1 日 (至)平成 29 年 3 月 31 日 (単位：千円)

勘 定 科 目		金 額
事業活動による収支	収入	
	介護保険事業収入	1,977,275
	老人福祉事業収入	603,680
	保育事業収入	119,608
	医療事業収入	1,807,884
	借入金利息補助金収入	1,553
	経常経費寄附金収入	3,798
	受取利息配当金収入	200
	その他の収入	15,696
	事業活動収入計(1)	4,529,697
支出	人件費支出	2,898,514
	事業費支出	709,938
	事務費支出	625,915
	利用者負担軽減額	57,101
	支払利息支出	29,716
	その他の支出	90
	流動資産評価損等による資金減少額	0
	事業活動支出計(2)	4,321,278
	事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	208,419
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	3,839
	施設整備等収入計(4)	3,839
	設備資金借入金元金償還支出	208,929
	固定資産取得支出	33,358
	ファイナンス・リース債務の返済支出	32,779
	施設整備等支出計(5)	275,067
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	△ 271,228
	その他の活動収入計(7)	2,447
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	△ 109,073
当期資金収支差額合計(10) = (3) + (6) + (9)		△ 171,882
前期末支払資金残高(11)		825,415
当期末支払資金残高(10) + (11)		653,533

(注) 詳細については、法人ホームページ及び札幌市ホームページをご参照下さい。

事業活動計算書

(自)平成 28 年 4 月 1 日 (至)平成 29 年 3 月 31 日 (単位：千円)

勘 定 科 目		金 額
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険事業収益	1,977,275
	老人福祉事業収益	603,680
	保育事業収益	119,608
	医療事業収益	1,807,884
	その他の事業収入	7,782
	経常経費寄附金収益	3,798
	サービス活動収益計(1)	4,520,029
	人件費	2,912,078
	事業費	709,938
費用	事務費	625,915
	利用者負担軽減額	57,101
	減価償却費	267,407
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 75,925
	徴収不能額	0
	サービス活動費用計(2)	4,496,517
	サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	23,512
サービス活動外増減の部	収益	
	借入金利息補助金収益	1,553
	受取利息配当金収益	200
	その他のサービス活動外収益	15,696
	サービス活動外収益計(4)	17,450
	支払利息	29,716
	その他サービス活動外費用	90
	サービス活動外費用計(5)	29,807
	サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	△ 12,356
	経常増減差額(7) = (3) + (6)	11,155
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	3,839
	その他の特別収益	557
	特別収益計(8)	4,396
	固定資産売却損・処分損	81
	国庫補助金等特別積立金積立額	3,839
	その他の特別損失	105,511
	特別費用計(9)	109,431
	特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 105,035
	当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	△ 93,879
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,069,263
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	975,383
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	2,417
	その他の積立金積立額(16)	10,000
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	967,800

認知症の方々を支える活動



当法人では、認知症の方を支える活動の一つとして認知症カフェ「ともいきカフェ」を開催しております。認知症カフェは、認知症の人への理解を深めるために、気軽に集まりお茶を飲みながら語らい、過ごせる場所です。全国各地で展開されていますが、札幌慈啓会もサービスを利用されている方々やそのご家族、地域にお住いの方々に向けて平成 27 年 10 月より旭ヶ丘地区で開催しております。

札幌市認知症カフェの認証を受けた今年度は 4 回開催する予定です。既に 5 月 17 日に開催したカフェでは、ミニ講座に北海道認知症の人を支える家族の会で事務局長の西村敏子氏をお招きし、「認知症の人の介護や家族の想いについて」と題し、実際の介護を経験した家族の立場からと家族会として相談に乗る立場から感じる事や見えてくるものについてお話し頂き、参加された方々は熱心に耳を傾けておりました。毎回異なったテーマによるミニ講座は大変好評で、最近では 30 名程参加されるようになりました。今年度は 8 月、11 月、来年 3 月に予定しております。開催日が近づきましたらホームページ等でご案内させていただきますので、ご興味のある方は是非一度足をお運び下さい。



開催時間：午後 1 時半から 3 時 45 分まで

学生ボランティア活動について

慈啓会の施設では、学生さんから主婦の方、定年退職後の方などいろいろな方が、自発的に自分に何かできることがあれば…といった気持ちのもとに、ボランティア活動をいただいております。このコーナでは、学生さんがボランティア活動を通じて、福祉施設の理解を深めていただいている様子の一部をご紹介します。



軽費老人ホーム【札幌市拓寿園】

- ☆ 施設訪問…28 年 6 月
 - ・入居者と歓談・ゲーム・健康体操
 - ・高校生(男女 19 名)
- ☆ 夏祭り・盆踊り…28 年 8 月
 - ・会場設営、綿あめ・ポップコーン担当、配膳、後片付け等
- ☆ 屋根の雪下ろし…29 年 2 月
 - ・物置、玄関屋根の雪下ろし、避難経路の除雪
- ☆ その他

福祉の仕事のやりがいや大変さを学ぶ「企業見学会」の受入れも実施。



特別養護老人ホーム【慈啓会特養】

- ☆ 施設訪問…28 年 7 月
 - ・入居者とのお話し相手・レクリエーション
 - ・小・中学生(男女 14 名)
 - ☆ 夏祭り…28 年 7 月
 - ・会場設営、模擬店手伝い、後片付け、入居者への付き添い
 - ・専門学校生(男女 22 名)
- ※祭りの参加者はスタッフも合わせると 400 名余りとなり、朝早くから活動いただき、後片付けも含め若者のパワーに感謝感激です。



他の施設でも活動を受入れて、平成 29 年度は高校生によるお話し相手とお部屋の掃除、中学校から職業体験授業の申入れ、障がい者の職場体験と就労に繋がりたいなどのお話があり、施設担当者も体験の場として活用を大いに喜んでおります。

施設紹介

慈啓会養護老人ホーム

慈啓会養護老人ホームは、中央区旭ヶ丘の藻岩登山道入口の風光明媚な景色に囲まれた場所にあります。

入所条件は、原則65歳以上の方で環境上や経済的な理由により、在宅で生活することが困難な方が対象で、入所利用料はその方の収入額の範囲で生活することができま

す。施設の周りには複数の法人施設があり、慈啓会病院では定期的な診察の他に夜間・休日を通して医療体制の確保が、また、特別養護老人ホームや老人保健施設とは、合同のイベントや防災訓練など



連携して実施しています。当施設の一押しは、何と言っても美味しいお食事です。

す。施設のおすすめは、サクサク感が絶妙な「かき揚げうどん」と懐かしい味の「カレーライス」は甘口・辛口が選べます。

入所者様の平均年齢が87歳と高齢なことから、皆様がいつまでもお元気で過ごしていただけるように、クラブ行事も工夫しております。すこやか体操、ストレッチ体操に加え今年からはカラオケを使用した音楽体操、更に特別養護老人ホームのリハビリ職員による個別リハビリ訓練を開始しました。また、折り紙教室や手芸サークルも人気ですが、歌クラブ（カラオケ）や自主的な麻雀や園芸などで、余暇活動を楽しまれている方もおられます。

入所を検討されている方は、是非一度見学にお越しください。なお、入所申し込み窓口は、お住まいの区役所（市町村役場）となっております。

（お問い合わせ先 慈啓会養護老人ホーム
011・561・8296）

施設紹介

中央区第2地域 包括支援センター

当センターは、札幌市から当法人が委託を受けて、中学校区にあたる南円山・円山・宮の森地区を担当しております。センターには、社会福祉士や保健師、介護支援専門員などの専門員が配置され、地域の高齢者の日々の暮らしを様々な側面からサポートしたり、地域の福祉づくりのお手伝い等を行っております。

（センターの主な業務）

① 地域の高齢者の総合相談窓口

介護・福祉・医療に関することや、「近所に心配な人がいる」等といった様々な相談に対し、ご自宅への訪問や各種サービスの支援調整、関係機関への取次ぎ等の対応を行っております。

② 権利擁護…消費者被害や、財産管理、高齢者虐待等に対して、関係機関と連携を図りなが

ら対応しております。

③ 安心して暮らしやすい地域づくり…地域の方々とも連携しながら、いつまでも生活しやすい地域のネットワークづくりを行います。

④ 介護予防…介護保険サービスの調整や認定の申請代行、地域の介護支援専門員の支援等を行います。

何かお困りこと等がございましたら、お気軽にご相談下さい。
☎011・520・3668



写真は当センターが、6月9日に地域の要請に基づき実施した「認知症サポーター養成講座」の様子です。

慈啓会後援会からのお知らせ

慈啓会後援会は、平成9年に慈啓会を支える協力団体として設立し、以来20年余り数多くの方のご理解とご協力をいただき活動を続けております。

去る6月6日に定期総会を開催し、平成28年度の決算と平成29年度の事業計画及び予算を審議し、それぞれ承認を受けましたので概要をお知らせ致します。

平成29年度総会報告

①決算・予算

決算・予算	収 入(千円)	支 出(千円)
平成28年度決算	・会費・寄附金 3,700	・事務事業費 562
	・雑収入 562	・法人繰入金 3,700
	計 4,262	計 4,262
平成29年度予算	・会費・寄附金 7,000	・事務事業費 700
	・雑収入 700	・法人繰入金 7,000
	計 7,700	計 7,700



②事業計画では、会員の募集、慈啓会への財政支援、広報誌の発行及びバス停側にハンギング植栽を予定しています。

※総会終了後は、聞くと役に立つ健康や体に関する講演を行っておりますが、今回は「地域包括ケアと慈啓会病院の役割」と題して慈啓会病院東出院長が講演しました。

後援会への加入お願い

会員様のご協力とご支援は、法人の運営で大変大きな支えとなっております。会員様の継続したご加入の他に、新たに一人でも多くの新規ご加入をお待ちしております。

お問い合わせは

社会福祉法人 札幌慈啓会 後援会事務局
〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号
TEL: 011-561-8291

苦情受付の公表について(定期報告)

平成28年4月～29年3月までにいただきました苦情等は以下のとおりです。

貴重なお意見ありがとうございました。

- 受付件数：6件
- 対象施設：特別養護老人ホーム(2ヶ所)
- 申出内容：職員の言動に対する苦情(2件)、施設の管理に関する苦情(2件)、サービスに関する苦情(2件)
- 対応：申出内容については、速やかに状況の確認を行い不快な思いに対する謝罪と改善に取り組んでおります。
- 第三者委員会：申出内容は第三者委員会に苦情内容及び苦情解決の経過・結果を報告し、助言等をいただき、その後の業務に反映しております。

参考事例：施設の周りにタバコの吸い殻が多い

意見等：職員なのか面会者なのか分からないが、何か対策を考えるべきである。
また、意見を記載する筆記用具も付録のよう
で書きづらい。

対応内容：早速、職員で清掃や筆記用具の交換を行いました。また、職員への喫煙マナーの呼びかけと定期的な清掃活動に取り組むこととし、「ご利用者・ご家族様の声」として玄関前の掲示板に掲示しました。

実習 経験

北海道文教大学 木村 秋乃

4年次最後の臨床実習は、慈啓会特養リハビリ室で色々なことを学ばせて頂きました。6週間の実習を通して、特に利用者様の表情や行動から、その日の体調や訴えを読み取ることの難しさを実感しました。リハビリ室の先生方は、利用者様の小さな変化にすぐ気づき、対処をして利用者様の負担を軽減していました。

今後、理学療法士として働く際には、先生方のように接する中で「付き」を大切にしたいと思っています。

最後に、ご協力頂いた利用者様をはじめ、職員の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

（現在は清田区内の病院に勤務）



実習 経験

北海道文教大学 捧 裕都

昨年6・7月に4年次の臨床実習で、慈啓会特養のリハビリ室において6週間の実習を経験させて頂きました。実習では利用者様一人一人に対して親身に関わることや、他の職種の方々との連携の大切さを学ぶことができました。

自分の知識不足や経験不足など至らぬ点が多く有りましたが、リハビリ室の先生方を初め、たくさんの方々から親切、丁寧なご指導を頂き本当にありがとうございました。卒業後は今回の実習で学んだ経験を生かして、リハビリ等の業務で頑張りたいと思っています。

（現在は実習先であった慈啓会特養リハビリ室に勤務）



札幌市稲寿園の地域交流事業

昭和47年に札幌市稲寿園が開設され当法人に運営が委託されて以来、稲寿園では利用者様を始め「誰もが『地域社会の一員』であること」を実感できるよう『地域に開かれた施設』を目指し運営に取り組んできました。その大きな柱が地域との交流です。

例えば毎年開催の「夏まつり」は当初から地域住民参加型の行事として企画され、地域の夏の風物詩として親しまれてきました。

また、お隣の幼稚園からは毎年沢山の園児たちが踊り等を披露するため訪れてくれてます。ここ数年は「来てもらう」ばかりでなく、地域貢献の一環として、職員が積極的に地域行事に参加する

など、双方向での交流拡大を図っているところ です。

写真は、地元中学校からの職場体験学習の受け入れをきっかけに、今年3月車椅子の寄贈を受けたときの様子です。



表紙題字揮毫：「共生」

長谷川白羊(はせがわはくよう)書。

昭和4年札幌市生まれ。本名・悦以(よしつぐ)。法政大学文学部卒。

昭和35年山口子羊に師事。平成2年「札幌と書」(札幌市教育委員)に於いて「札幌の書家」百選に選ばれる。平成6年個展開催(於 札幌大丸藤井セントラル)

表紙写真：「豊平館」

慈啓会病院 藤田氏 提供

広報誌「共生」 2017年7月 Vol.04

編集発行／社会福祉法人札幌慈啓会

〔法人本部〕 〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号
(慈啓会特別養護老人ホーム 1F)

TEL 011-561-8291 FAX 011-561-8298

<https://www.sapporojikeikai.or.jp>